

6. 過 程

段階時間	指 導 内 容	留 意 点
10:50 5分	<p>1. 資料1(江戸時代)と資料2(明治時代)を比較させ、課題をとらえさせる</p> <p>(1) 資料1・2を見せる</p> <ul style="list-style-type: none"> • 同じ場所 • 人々の生活のようすに違いが見られる <p>(2) 学習課題をとらえさせる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> <p>明治になって、人々の生活はどのように変わってきたか</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料1・2を見せる前に、次のことを知らせておく <ul style="list-style-type: none"> • 同じ場所のスライドであること ○ 資料1・2の順にスライドによって提示する。スライド映写機を2台使用する ○ 変わったことに気づかせるだけとし、長時間見せないようにする ○ 資料1が江戸時代、資料2が明治時代の初めであることを話し、違いのあることを確認し、課題をまとめるようにする
10:55 15分	<p>2. 資料1と資料3(明治15年)を比較させ、課題について調べさせる</p> <p>(1) 変化した事実をメモさせる</p> <p>(2) メモしたことを発表させる</p> <p>(3) 資料2・3では発見することができない変化の事実を説明する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料2も見せるが、比較しやすいように資料3を使用する ○ 2台のスライド映写機を使用し、比較しやすいように資料(スライド)を提示する ○ 変化の事実を資料で確認し、カードによって黒板に表示する ○ あらかじめ、衣食住に分けて、カードをはりつける ○ 絵にかいた資料によって説明する
11:10 10分	<p>3. 「文明開化」やそのすすみ方について話し合い、まとめさせる</p> <p>(1) 「文明開化」とはなにかまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> • 生活のすべて(衣食住)に及んでいる • 西洋風であった • 現在の生活とよく似ている • 変化が短期間に行われ、急であった • 「文明開化」とは、明治の初めに、西洋の文化がとり入れられて、人々の生活や文化が大きく変わったことをいう <p>(2) 資料3と資料4(明治時代の福島の街の様子)を比較させる</p> <ul style="list-style-type: none"> • 旧態依然の福島など • 東京中心の風潮 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 黒板に表示したカードを使用して分類し、話し合う ○ 当時のヨーロッパの写真を見せ、ヨーロッパの生活の様子を一見させておく ○ 江戸時代の日本の生活と異なることを明確にする ○ 自作した年表(TP)によって、江戸時代と文明開化の期間(明治10年頃まで)と比較させ、その変化が急であったことに気づかせる ○ 学習内容を整理しながら、文明開化といわれた世相について、その取り入れ方などを補足しながら説明する ○ 福島だけでなく、他の諸都市も同じ傾向にあったことを補説し、東京中心の文明開化をとらえさせる
11:20 10分	<p>4. 「文明開化」と明治政府の諸改革との関係を調べる</p> <p>(1) 「富国強兵」と「文明開化」の共通点を考えさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> • 外国に負けない国にするため • 文明国家をつくるため <p>(2) 明治政府の考えとのつながりがあることに気づかせる</p> <ul style="list-style-type: none"> • 断髪令 • 廃刀令 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 明治維新の諸改革の学習を想起させながら、「文明開化」が行われたわけを追求させる ○ 明治維新の諸改革をTP化しておき、想起させる資料として準備しておく ○ 共通点を人々の願いとして考えさせ話し合わせる ○ 政府はどんな願いを持ち、人々はそれをどう受けとめたかという観点から考えさせる
11:30 5分 11:35	<p>5. 本時のまとめをし、次時の予告をする</p> <p>(1) 本時のまとめをさせる</p> <p>(2) 次時の予告をする</p> <ul style="list-style-type: none"> • 西南の役 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「文明開化」について、自分のことばでまとめさせる ○ 年表の資料を利用する